

あらゆる形態の事業者が備えておきたい知識

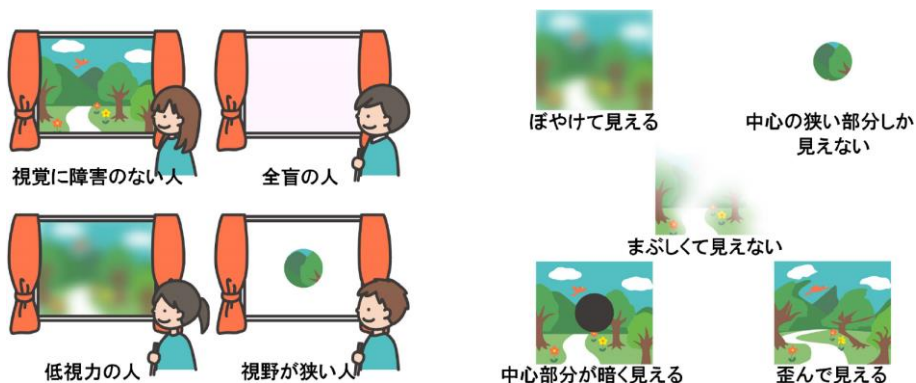
【状況】

- ・ 障害者差別解消法の改正にともない合理的配慮の提供方法を検討する。
- ・ 視覚障害者にはどのような配慮が必要なのだろうか.....



【対応方法の一例】

- ・ まずは視覚障害を知ることからはじめましょう。
- ・ 障害の種類や度合いによって対応方法が異なるだけでなく、同じ障害であっても個人差がありますし、状況によっても必要な配慮は変わってきます。
- ・ 視覚障害者は見え方が人それぞれ。まったく見えない人、低視力でも近づけば見える人、中心視力はあるが周辺が見えない人、周辺視力はあるが中心が見えない人などさまざまです。見えにくさの違いによって困ることも違うと知っておいてください。



Point!

見え方の違いを完璧に理解するのは当事者同士でも難しいものです。難しく考えすぎず、お客様に話しを伺いながら適切な判断をしましょう。

これはあくまでも一例です。必ずこうしなければならない、というものではありません。それぞれに合ったより良い方法を、皆さまで話し合ってみてください。

